陳情第１３号	受理年月日	平成２９年２月２７日
付託委員会	環境水道委員会	
陳　情　者	八幡東区勝山一丁目 11－６－304 織田　千代子　外１名　（署名 8,880 名）	
件　　名	家庭ごみの指定袋について	

要　旨

単身者が、10 リットルの特小袋をいっぱいにするのに４週間もかかった。その間、袋の底に水分がたまるため、必要以上に紙で包み、ごみの量がふえてしまう。

近ごろは、１食分の単位で栄養バランスやカロリー計算がなされた弁当などの冷凍食品がたくさん販売されており、高齢者や病気のある人たちに限らず、共稼ぎの人も５リットルの袋を必要としている人が多い。

あるお年寄りは、特小袋がいっぱいになると、重すぎてショッピングカートに入れて、ごみ置き場まで持っていかなければならないと嘆いていた。

また、ごみの量の少ない人がごみ置き場に置いてある他人の出した袋にごみを入れると、そのことで陰口を言われ、ごみを入れられた人は不愉快だったと言っていた。

ついては、持ち手やまちの部分をなくし、少し縦長で容量が５リットルの袋を早急につくっていただきたい。